

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	重症児デイサービスdash		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	Q10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	毎月、「今月の絵本」を決め、読み聞かせを行っています。また、絵本の世界観をイメージしやすくなるように、製作や遊びにも取り入れ、ひと月絵本の世界に浸れるようにしています。	毎月絵本が違うことで、毎月違う活動になります。また、製作の材料から感触遊びに発展したり、歌を歌ったり、楽器を演奏したりと幅も広がります。今後も継続し、通所の楽しみにしていきたいです。
2	Q21.定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	年4回発行している通信で1か月の活動内容や絵本の紹介をしています。また、Instagramで事業所での活動内容を発信しています。	Instagramは大変好評いただいています。ご家庭では見せない表情や他のお子様との交流、集団での遊びや活動を発信することで、成長や新たな気づきに驚くことができます。アップの頻度を増やすことは難しいですが、今後も発信していきます。
3	Q7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	定期的な面談の際に、個々のお困りごとやご要望をお伺いしています。	お子様の成長のことや基礎疾患の医療的ケア等の変更など、定期的な面談を通して変更点や支援内容の変更を行っています。今後もお子様とご本人に寄り添った支援計画を作成していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	Q11.保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	近隣の学童クラブと年に数回、交流の機会を設けていますが、今年はインフルエンザ等の感染症の流行に伴い、実施が出来ませんでした。	当事業所の特性上、感染症の流行期や暑さや寒い時期を避けると、安心して交流できる時期が少ないのが現状です。リスクを負ってまで交流することは想定していないため、安心して実施出来る時に実施していきます。
2	Q18.父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	ご要望はありませんが、現状、保護者会や父母会などは保護者様のご負担も増えるため、実施が難しいと思われます。	保護者会や父母の会、きょうだいの交流会などのご要望が多数あった際には、当法人内で検討します。
3	Q2. 職員の配置数は適切であると思いますか。	法令で定められている配置基準は準拠していますが、看護師や機能訓練士などの人数が少なく、十分なケアが難しいことがありました。	年明けから看護師と機能訓練士の採用がきまったので、順次増えていく予定です。今まで以上のケアが出来るように取り組んでいきます。